

議会だより

みなみふらの



整備が進む道の駅公園遊具（10月26日）

第3回定例会概要	2～3P
一般質問	4～8P
研修会報告	9P
議会の動き	10P



令和5年第3回定例会

令和5年9月20日～22日

令和5年第3回定例会は、9月20日に招集され、会期を9月20日から22日までの3日間と決めた後、教育行政評価報告、町長の行政報告5件、議会運営委員会及び総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、4議員による一般質問が行われました。その後、報告案件として令和4年度南富良野町健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。引き続き、一般会計及び4特別会計補正予算を審議の結果、原案のとおり可決し1日目を終了しました。

第3日目の9月22日は、

北海道市町村職員退職手当組合理約の変更1件、工事請負契約1件について審議の結果、原案のとおり可決しました。その後、教育委員会委員の任命について無記名投票で採決が行われ、原案のとおり同意することに決定、また、本年9月に任期満了となる選挙管理委員及び同補充員の選挙が、議長の指名推選により行わ

れました。令和4年度各会計歳入歳出決算の認定に付託し、閉会中の継続調査とすることに決定しました。引き続き、議員提出による意見書案2件についても審議の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え、定例会を終了しました。※令和4年度の各会計決算と健全化判断比率及び資金不足比率の詳細については、町広報紙10月号に掲載されています。

一般会計補正予算の主なもの

- ・ 総合行政システム標準化業務委託料 245万円
- ・ 地域公共交通整備事業費 1940万円
- ・ 南富良野町議会議員選挙費 986万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 345万円

令和5年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	3324万円	52億7297万円
国民健康保険事業特別会計	48万円	2億9833万円
後期高齢者医療事業特別会計	67万円	4291万円
介護保険特別会計	1148万円	3億2447万円
町立診療所事業特別会計	0万円	8680万円
簡易水道事業特別会計	-	2億1809万円
公共下水道事業特別会計	-	1億4863万円
合計	4587万円	63億9220万円

- ・ かなやま湖保養センター燃料タンク改修工事 427万円
- ・ スキー場ロッジ燃料タンク改修工事 456万円
- ・ 南富良野中学校体育館給油設備改修工事 379万円

人事案件

○教育委員会委員の任命

令和5年9月30日をもって任期満了となる大神裕全氏の後任として、中村孝典氏(幾実)を任命したいとして同意を求める議案が町長から提出され、無記名投票による採決の結果、賛成多数で任命に同意しました。

(賛成7・反対0)

○選挙管理委員及び同補充員の選挙

南富良野町選挙管理委員会委員の任期満了(9月28日)に伴い、議会において選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。選挙の方法は本会議において議長の指名推選により行われ次の方々に決定しました。

選挙管理委員

- 水口 孝司氏(幾実)
- 上坂 直樹氏(幾実)
- 新野 昌子氏(落合)
- 齋藤 保子氏(金山)

補充員(補充順位順)

- ①久保田智彦氏(北落合)
- ②森川 光義氏(金山)

- ③前川原淑江氏(下金山)
- ④定塚 正文氏(幾実)

■工事請負契約

契約の目的	南富良野高等学校校舎耐震改修及び大規模改修工事
契約の方法	条件付一般競争入札による契約
契約金額	3億9188万4900円 (うち消費税及び地方消費税の額 3562万5900円)
契約の相手方	サンエービルド・永井特定建設工事共同企業体

その他

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

後志広域連合が新たに加入したことによる変更です。

決算の認定

令和4年度各会計歳入歳出決算の認定については、町長からの提案説明に引き続き、森代表監査委員から各会計の決算の監査意見が述べられ、総務常任委員会(議員選出監査委員を除く)に付託され、閉会中の継続調査とすることとしました。

閉会中の継続調査

総務常任委員会では令和5年第2回定例会以降、次の4件について閉会中の継続調査を行いました。

- ・道の駅再編整備について
- ・景観整備等について
- ・鉄道廃線跡地に伴う存廃について
- ・公共施設の視察について
- ・また、次の4件について引き続き閉会中の継続調査をすることにしました。
- ・道の駅再編整備について
- ・鉄道廃線跡地に伴う存廃について
- ・移住体験の制度設計について
- ・町の財政推計について



監査意見を述べる
森代表監査委員



～議決された意見書～

- ◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

※議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています。

一般質問(要旨)
たかのほし
鷹嘴 充子 議員
あつこ



問 公共施設等への冷房施設設置に
対する考えは

答 未整備の公共施設については内
部協議しながら進めたい

①町の公共施設等への冷房設備設置について

鷹嘴 役場をはじめとする公共施設においては、冷房設備が備わっていない施設が多く見受けられるが、公共施設は町民や利用者にとって適切な環境を提供し、安心して施設を利用できるようにするべきと考える。また、

役場や各地域の避難場所・福祉避難場所に指定されている施設においては、災害発生時の重要な対策場所・避難場所になることを考えると、それらの施設への冷房設備の設置が急がれると思うが、町長の考えを伺う。

町長 本町の今夏のデータを見ると25度以上の夏日が59日、30度超えが19日となっており、毎年こういった状況が常態化するのではないかという専門家の所見もある中、町としては積極的に冷房設備の整備を進めている。

整備状況としては、役場

庁舎2階の教育委員会、議会事務局等にルームエアコンを設置。また、幾寅地区のデイサービスセンター、くるみ園、和楽園、物産センター等が整備されており、

幾寅保育所、西小学校は地中熱を使った暑さ対策をしている。南富良野小学校は今発注しており、南富良野高校については耐震化整備の中で整備をすることになっている。さらに来年、南富良野中学校の整備を考えている。未整備の役場1階と2階、保健福祉センターのみなくなるについても、どのように整備していくか6年度に向けて検討してきた。各自治会館については、避難所でもあるが自治会館としてどうか、地域と協議し自治会等の意見をしっかりと聞いていきたいと思う。

エアコンがない人が公共施設に避難する「クールシェルター」という言葉もあるが、そういう実態も含め、未整備の公共施設の整備につ

ては内部で協議し、地域の声も聞きながら進めさせていたいただきたい。

鷹嘴 最近役場に来ると職員の間で顔が見受けられることが多く、エネルギーを上げるためには役場の冷房設備も必要ではないかと感じている。

地球温暖化の影響なのか、北海道の夏が変化しているように感じる。公共施設に限らず、民間住宅の冷房設備設置に対する補助も前向きに検討をお願いしたい。



役場2階に設置されたエアコン

～クールシェルター～

「エアコンが入っている」「座って休憩ができる」など、公共施設や協力店舗を熱中症予防の目的で一時的な休憩所として利用することです。

問 道の駅の駐車場の利用価値と安全対策について

答 多面的利用をする中で安全も確保していきたい



一般質問（要旨）
おの 小野 秀 議員

① 道の駅の駐車場の利用価値と安全対策について

小野 現在の道の駅の駐車場収容台数は約100台、臨時駐車場を含めても約200台と聞いている。現在整備中の公園が出来上がると、さらに駐車台数が増加すると予想されるが、現在の駐車場が満車となる想定日数は年間どのくらいあるのか。また、駐車場の容量不足になった際の町民及び来場者の安全対策や、利用価値の向上等、自衛隊の特殊車両も増えてきているように見えており、そのことも含めて今後の安全対策について伺う。

町長 今年の常設、臨時駐車場合わせての満車日数は11日、常設の満車日数は40日となっており、新たな常設駐車場や広場が必要と判断している。安全対策は現在整備工事が行われていることもあり、混雑時に警備員を町で配置しているが、

基本は駐車場の利用は自己の責任が管理の流れであり、指定管理者やテナント事業者と協議し判断していきたい。利用価値は多面的利用（各種イベント）することによって集客力も上がるので必要だと思う。



自衛隊も多く利用する道の駅駐車場

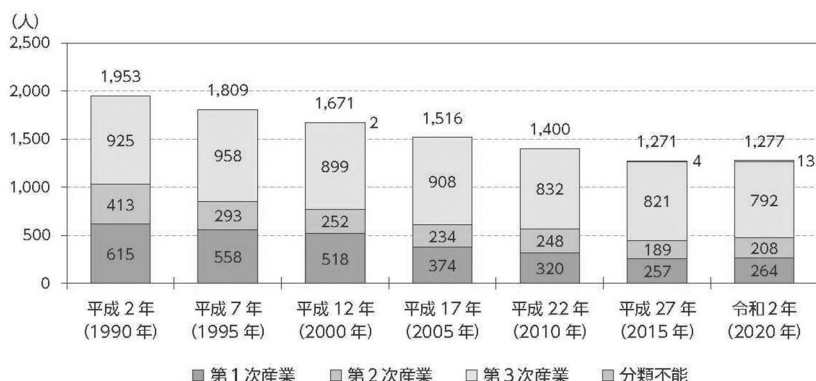
小野 事故等発生したときは、全て自己責任で解決していく方向なのか。
町長 事故を起こすような施設の瑕疵があれば、これは町で責任を負う。そのための保険にも入っており町で対処させていただく。

② 本町の産業構造の現状と南富良野町第6次総合計画との整合性について

小野 本町の令和5年8月末の総人口は2304人、第6次総合計画による令和9年度の総人口の推計値は2232人で、減少人口は72人となる。現在行政では、新しい観光開発や移住対策等を考えているが、移住対策には就業へのアプローチも必要と思われる。以上のことから現在の本町の産業構造について、また産業構造別の就業人口や生産額等、第6次総合計画との整合性についてどのような認識を持たれているのか伺う。

町長 令和2年度国勢調査に基づく産業構造別の就業人口は、1次産業264人、2次産業208人、3次産業792人、その他と合わせて1277人となっており、5年前と比較すると若干プラスである。次に産業別の生産額では1次産業22

■産業別就業者数の推移（資料：国勢調査）



億円、2次産業22億9400万円、3次産業41億5100万円である。就業人口の確保は重要であり支え手の確保が定住人口につながる産業の就業人口にもつながると思う。幅広い人材を確保するには、移住住宅だけでなくワンストップ窓口を作り、協議会に事業者も入ってもらい、職につなげ

ていく努力をしていく考えである。また来年度からは、町内事業所に正規職員として就職された方の奨学金返還支援といった政策も考えている。

小野 目標がなければ軌道修正や打つ手がなくなる危険がある。目標設定についても考えていただきたい。

問 地域の自由な移動手段としてデマンドバスの夜間運行を

答 デマンドバスでの運行はハードルが高く困難と考える



① デマンドバスの運行について

古橋 スキー場・カーリング場・町民体育館等、夜間利用の多い施設への送迎バスとしてデマンドバスが使えるようになる、交通弱者や子育て支援・子供たちの自立の観点からも便利になり、地域間の自由な移動の手段が増えることは、施設の利用促進にもつながるものと考えられる。デマンドバスの夜間運行については、町長の考えを伺う。

町長 今のデマンドバスは通院・通学・通勤・買物など限られた範囲に絞られた時間帯の移動ということで運行している。

夜間運行に対してネックとなるのが、走らせても利用者がいけない、運転手の確保が非常に難しく2024年問題で運転時間が更に厳しくなる、運行事業費の問題（4年度の事業費1210万円、利用者2038人、1人当たりの運行経費59

40円）であり、来年度からの鉄路にかわる公共交通も論議しているところだが、この3つの要素のバランスを整った中で、デマンドバスを運行していきたいと思っています。これからの状況も踏まえてデマンドバスなのか、違う方法もないのか、考えさせていただければと思う。今回のデマンドバスの運行は、やはりハードルが高く困難と言わざるを得ない。

古橋 デマンドバスとは言わず、夜間の送迎手段を公共でつくっていただけると、子供たちの自立、自分の思った時間に習い事、スポーツもできるといいと考えるので、これからも検討をお願いする。

～2024年問題～
働き方改革法案によりドライバーの労働時間に上限が課されることで生じる問題の総称です。

② スキー場ロッジでの収納室の設置について

古橋 学校や仕事帰り、また土日、祝日や冬休み等に気軽にスキーに乗れるよう、スキー場ロッジの既存の空き部屋を利用してスキー収納室を設けることで「手ぶらでスキー」ができれば利便性向上と利用促進につながると思うが、町長の考えを伺う。

町長 現在小・中・高の児童・生徒が183人、これに一般利用者を仮に町内100



国設南ふらのスキー場

人と考えると、300名近い方の収納スペースが本当に確保できるのか、スキーの管理はどうするのか、振興公社としても施設の管理も難しいのではなど多くの課題がある。的を得た提案だと思うが、現状の管理運営計画の中では物理的にも難しいと考える。

古橋 大人は車も乗ることから、子供の分のスキーについて、例えばシーズン券を取得している子に限り空き部屋で預かり、チケット売り場で部屋の鍵の管理をしてもらうような形で人数を絞れば可能になるのではないかと。できることならば、小規模なスキー収納室でもいいと思うので、検討いただきたい。

町長 子供だけでもということ、関係機関、教育委員会とも話し、ニーズが本当にあるのか、物理的に一室でもそういう形ができるのか、検討はさせていただきたい。

問 かなやま湖畔道路沿いの樹木の対策について

答 関係機関への伐採要請以外に町費での伐採も検討したい



一般質問（要旨）
とがわ
十河 総子 議員

① 庁舎整備とかなやま湖畔周辺道路の環境整備について

十河 町の環境・景観整備を行い、イメージアップを図ることは移住・定住をはじめとする様々な可能性につながると思うが、次の2点の整備計画について伺う。

① 役場庁舎は修復するところでは修復し、町民や来訪者がいつ来ても恥ずかしくない状態にすべきではないか。
② かなやま湖が見えないくらいに生い茂っている樹木の対策を早急に行う必要があるのではないかと。

町長 ① 現庁舎は、経過年数・耐震化からみても建て替えの時期を迎えているが、他の公共施設の建て替え、まちづくり課題などを優先し、選択と集中により仕事を進めさせていただいている。消防庁舎も古く建て替える必要はない状況もあり、庁舎はまだ先とされているが、修復すべきところは修復し、しっかり維持

管理をさせていただく。
② かなやま湖周辺の景観環境維持のため、ダム敷地内については空知川河川事務所、道路については北海道などに樹木の伐採要請は毎年しているが、景観というだけでは予算の確保が難しいようである。来年度は初の試みとして、関係機関の了解が得られれば、伐採箇所を選定し、町費で切ることも検討したい。



景観を遮るかなやま湖畔の樹木

十河 第一印象は大切であり、定期的に庁舎内を点検して、環境・景観整備は常に整えていただきたい。また、かなやま湖についても今回同った対策をできるようお願いする。

②道の駅横の複合商業施設について

十河 複合商業施設の飲食店については、定休日や営業時間のばらつきも散見され、週休3日や冬期は休業という事態も起きている。素通りされない道の駅にするためにも、いま一度いろいろな面で協議し、対策・改善が必要ではないかと思うが、町としての考えを伺う。

町長 レストランもテナント6店舗も営業時間は夏が19時まで、冬が17時までで状況によって短縮・延長可能、定休日設定可能としている。営業期間はレストランが通年、テナント6店舗が4月第4土曜日から10月最終日曜日までとし、通年の義務付けはしない(それ以外

の期間は事業者の任意というルールでやっている。現在、道の駅関係者会議を開催して冬期間の集客対策を含め意見交換を実施しており、飽きられることのない道の駅の魅力づくりに努めていきたい。

十河 現在、道の駅の飲食店はマリオットホテルの食事の受皿になっているのか。

まちP推進室長 カフェよしみち、肉どころ燈が金、土日曜日に夜間営業、朝食は

毎日ではないが肉どころ燈、ほしざわやで提供している。そのほか道の駅ではないが、スヴァールバルカフェも夕食・朝食を提供していると聞いている。

十河 冬期休業する店舗を借りて営業してみたい方もいるかもしれない。町民から意見を聞いたり、いろいろな可能性を試しながら活気のある道の駅になってほしい。



冬期営業する複合商業施設テナント

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

議会の傍聴は町政の運営状況や議員の活動状況を知るよい機会です。

定例会では議案審議のほかにも、議員が行政に質問をする「一般質問」も行われます。

お気軽にお越しください。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会の開催予定は **12月13日(水)～15日(金)**です。

会議中継映像をインターネット(ユーチューブ)で動画配信しています。生中継と録画配信をしており、いつでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

※ 録画配信されるまでに時間がかかる場合があります。



← 定例会等の日程や議会だよりなども町のホームページからご覧いただけます。
<http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp>

第4回定例会



議員研修会等報告

■議会広報研修会

(8月17日 札幌市)

議会広報委員長・副委員長の2名により、自治体広報広聴研究所の代表理事である金井茂樹氏の講演を拝聴しました。

講演では広報の定義、企画、編集の基本的な概念、デザインの基本等、見出しや写真、グラフを上手に使い読者を意識した読みたくなる編集テクニクについて専門的なことを分かりやすく教わりました。

またクリニクでは、道内4町議会広報紙の編集デザインを診断・分析し、多くの実例を具体的に評価し、改善点を解説。特に「リード文」と呼ばれる予測情報を効果的に入れることで、読者に理解しやすいと感じてもらえる読みやすい文章になる、目を引く「見出し」で見やすい紙面になる等、

実物の紙面を使った説明が大変勉強になりました。今後「読みやすい・読みたくなる広報紙づくり」に役立てていこうと思います。

(古橋 国久)

■議員研修会

(8月30日 鷹栖町)

上川管内町村議会議員・町職員等、約400名(当議会議員6名)参加のもと、初めの国際交流公演会ではリトアニアのソプラノ歌手ヴィクトリア・ミシュクナイテさんのオペラを鑑賞、迫力ある美しい歌声に魅了されました。

引き続き、山崎内閣官房参与による「少子高齢化と社会保障のこれから」と題した講演を拝聴。社会保障は様々な支えがあって回っているが、家族の単身化・雇用形態の変化・地域(人口)の縮小などにより上手く回らなくなってきたり、少子化・人口減少が解決されない限り崩壊状態である。残されている時間は非常に少な

く、これは女性や一部の人間の問題ではなく、社会や地域の問題を変えていくことをトップが決断しなければならぬ。今の我々が最終的に未来を決めていると山崎氏は語っており、自治体、我々に問いかけられているような、非常に危機感せまる共感させられる講演でした。

(渋谷 浩岐)



山崎 史郎 氏

■上川管内町村議会議員・北海道市議会議長会道北支部議員研修会

(10月19日 旭川市)

北海道市議会議長会道北支部との共催により、約300名(当議会議員8名)参加のもと開催。

初めに早稲田大学マニラエラスト研究所事務局長、中村健氏による「住民から期待される議会になろう!」と題した講演では、全国の事例を紹介しながら、議会活動の起点は広聴であり、いかに住民の声を聴くかが大変重要であり、地方議会の役割は、住民の声を聴き首長の提案内容を論議し議決をして、その執行を監視する。また、住民はいろいろな人の集まりであり、価値観の多様化にどう向き合い対応するか、一つ一つの行動が成果を上げていく。自己研鑽に励み住民から期待される議員生活を送ることが必要である。さらに地方分権で地方議会の機能強化が求められており、SDGs・多様性の時代に誰もが楽しく幸せに暮らせる地域を創るための議会活動をしていかなければと話され、改めて勉強することばかりでした。

引き続き、文藝春秋取締役・総局長、新谷学氏による「スクープに見る企業の危機管理」と題した講演では、世の中で起きている様々な危機管理不足によるリスクの拡大について、政治・経済・社会問題について報道する側の立場で、事例を挙げながら話されました。一度起きてしまった問題の危機管理不足により、問題が何重にも綻んでしまう。逃げないで、うそをつかないで、隠さないで、情報開示を早くすることが大切と話されたことが印象に残りました。

(曾慶 一介)



新谷 学 氏



中村 健 氏

議会の動き

令和5年8月～10月

- 8月2日 ○栃木県矢板市議会（教育福祉産業
常任委員会）行政視察来町
- 7日 ○南富良野町議会第2回臨時会
○議会運営委員会
○全員協議会
- 17日 ○議会広報研修会（札幌市）
- 18日 ○上富良野駐屯地司令及び多田分屯
地司令の異動に伴う歓迎会
（上富良野町）
- 22日 ○富良野地方自衛隊協力会南富良野
支部定期総会
- 24日 ○総務常任委員会
- 30日 ○議員研修会（鷹栖町）
- 9月4日 ○全員協議会
○総務常任委員会
- 5日 ○上富良野町議会議長就任挨拶来局
- 6日 ○元町議会議員植村通彦氏逝去に伴
う通夜焼香（富良野市）
- 7日 ○北海道議会議員水間健太氏来局
（富良野沿線教育議連発足）
- 14日 ○議会運営委員会
○町功労者山上隆生氏逝去に伴う通
夜焼香（富良野市）

- 20日 ○南富良野町議会第3回定例会
～22日 ○議会運営委員会
○全員協議会
○総務常任委員会
○議会広報特別委員会
- 23日 ○第14施設群漕舟・炊事競技会公開
訓練視察（東鹿越）
- 30日 ○フォレストタウン記念植樹祭
（金山）
- 10月3日 ○富良野広域連合議会議会運営委員
会・全員協議会（富良野市）
○秋田県にかほ市議会（産業建設常
任委員会）行政視察来町
- 10日 ○富良野広域連合議会第2回定例会
（富良野市）
- 12日 ○香川県東かがわ市議会（同友志
会）行政視察来町
- 17日 ○上川管内町村議会議長研修会
（当麻町）
- 19日 ○上川管内町村議会議員・北海道市
議会議長会道北支部議員研修会
（旭川市）
- 26日 ○苫前町議会行政視察来町
- 27日 ○札幌南ふらの会との交流会
（東鹿越）